

プログラムデザインコース

■ 「企業・行政・住民が協働した環境まちづくりの現場・水島から学ぶ」

～公害教育からつなぐ持続可能な開発のための教育（E S D）～

日 時： 2025 年 7 月 12 日（土） 9：30～16：30
会 場： みずしま資料交流館（あさがおギャラリー）・倉敷市環境学習センターほか
定 員： 25 名
講 師： 福田 憲一氏、塩飽 敏史氏〔公益財団法人水島地域環境再生財団〕
古川 明氏〔みずしま滞在型環境学習コソーシアム 会長〕
關口 寿也氏〔全国小中学校環境教育研究会 会長〕

集 合 時 間： 9：30
集 合 場 所： みずしま資料交流館（あさがおギャラリー）岡山県倉敷市水島東栄町 11-12
ア ク セ ス： ①無料送迎バス
朝： JR 倉敷駅前（くらしきシティ西ビル前）8:50 集合 9:00 出発予定・あさがおギャラリーへ（約 25 分）
夕： 倉敷市環境学習センター16:45 出発予定・JR 倉敷駅へ（約 20 分）
②水島臨海鉄道及び徒歩
「倉敷駅」から「栄駅」を下車。西へ徒歩約 5 分。（倉敷駅・栄駅間所要時間約 25 分）
③マイカー（事前相談要）
スマートムーブを推奨しています。また、駐車可能台数に制限があり、研修会場の移動がございますので、
できるだけ①を御利用ください。マイカー利用を希望される方は必ず事前に事務局にお知らせください。

プログラム(予定)

9:00	倉敷駅西ビル前無料送迎バス出発 / 現地集合の受付 9：00～ 9：20
9:30	開会・オリエンテーション（30 分）場所：みずしま資料交流館（あさがおギャラリー） ・挨拶、参加者自己紹介、目的・スケジュール共有等
10:00	見学・レクチャー（30 分） 「体験の機会のある場『みずしま資料交流館』の役割」 福田氏
10:30	バス移動（15 分）
10:45	コンビナートクルーズ・レクチャー（60 分）場所：水島港発着（乗船して周遊）※ 「水島コンビナートの今」 古川氏
11:45	徒歩での移動（15 分）
12:00	昼食（※）場所：倉敷市環境学習センター
12:45	レクチャー（30 分）「若者が取り組む持続可能な地域づくり」 古川氏
13:15	見学・レクチャー（30 分） 「環境を守る仕事」 倉敷市環境監視センター・環境学習センター
13:45	休憩（10 分）
13:55	グループワーク（105 分） 塩飽氏 ・ロールプレイ「あなたの町で公害が起きたら」（45 分） ・意見交換・発表（45 分） ・気付きの共有・学びの整理、講評等（15 分）
15:40	レクチャー（30 分）「学校での学びとつなげるためのワンポイントアドバイス」 關口氏
16:10	全体を通しての質疑応答等（10 分） ファシリテーター 塩飽氏
16:20	事務局からのご案内（10 分） 16：30 終了予定

※ 荒天時を除き、雨天時についても上記プログラムを安全に実施します（傘やカッパ等の雨具は御持参ください。）。なお、クルーズは
港湾内の周遊であり、揺れは少ないと見られますが、不安のある方は酔い止めを服用するなど対策を講じてください。

※ お弁当(有料)の注文を事前に承ります。お弁当等の御持参も可能です。

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

○みずしま資料交流館 あさがおギャラリー

干拓による新田開発と水害、河川改修、軍需産業と開発・空襲、石炭から石油へのエネルギー転換に伴う石油化学コンビナートの進出と公害の発生など、「近代を凝縮した」水島の歴史に学び、多様な主体が対話する「みんなの資料館」をめざして設立されました。また、公益財団法人水島地域環境再生財団の拠点施設として、水島コンビナート地域をめぐりながら大気汚染公害の歴史・経験を学ぶ SDGs 学習のコーディネートをはじめ、展示や教材の提供などを通じた体験学習の機会を提供しています。

2023 年7月、倉敷市長により、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に、倉敷市内で初めて認定されました。



○ 公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団)

地域から、学び、伝え、人々をつなぎ、水島の公害から、持続可能な未来を地域とともに新しい価値をつくりだすことを目指して、平成 12 年に水島地域の環境再生・まちづくりの拠点として設立されました(平成 23 年に公益財団法人へ移行)。出前授業や水島コンビナート地域をめぐる SDGs 学習などによる人材育成、瀬戸内海の再生を目指した調査研究・提言活動等を、市民・企業・行政・大学等研究機関などとの協働(パートナーシップ)で実施しています。

○ みずしま滞在型環境学習コンソーシアム

倉敷市、倉敷商工会議所、岡山大学、地元企業、そしてまちづくり団体などが協力し、水島を平和・公害・環境学習のフィールドとして活用するための円卓組織として、2018 年に設立されました。このコンソーシアムは、「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成に向けて活動しており、水島の環境や歴史的背景を活かし、地域社会の発展と環境保全に貢献しています。

